

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2021年8月11日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大川市	代表者名	倉重 良一
担当者部署	企画課	連絡先電話番号	0944-85-5525
担当者役職	係長	担当者氏名	西田 直光
住所	831-8601 福岡県大川市酒見256-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	今まで考えていたDXは庁内向けが多く、庁内・オンライン・庁外の三本柱でロードマップを作成し、それに沿ってDX推進本部で部会を作り課題解決に取り組んで行く必要があるという具体的なアドバイスもあり今後のDX推進に向けての動き方がわかりやすくなりました。
アドバイザーへの要望事項	今後はロードマップも取り入れた職員へのDX研修を通し職員一人ひとりが意識改革をできるようお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年8月5日	15時00分	17時15分		135
3-2. 派遣場所	会場名	大川市役所		最寄駅	西鉄柳川駅
	所在地	福岡県大川市大字酒見256-1		最寄駅からの交通手段	西鉄バス(西鉄柳川)⇒西鉄バス(中瀬橋本橋駅前)⇒徒歩
	派遣形態	事前打合せ(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市長、職員	6人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	具体的にどのような内容でDXを進めていくかが課題。DX推進本部と情報化リーダーの具体的な活用方法や職員のDXに対する意識改革。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員一人ひとりのDX推進に対する意識改革のために研修をする必要がある。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	DX推進のためには、庁内・オンライン・庁外の三本柱でロードマップを作成し、それに沿ってDX推進本部で部会を作り課題解決に取り組んで行く必要性があり、それを取り入れて職員研修をしていく必要があるというアドバイスがあった。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	DXを進めていく方向性、DX推進本部の具体的な活用方法が見えてきた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	次回までにロードマップを作成する。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職員一人ひとりがDXを進めていくという意思をもって業務に取り組んで行くこと。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。